

ライヴが水福運携で手掛けている商品



米子市淀江町

NPO法人
ライヴ

地元の水産物加工で
鳥取の商品に付加価値を

2011年4月に障がい者の就労継続支援B型事業所「リヴよどえ」を開所。当初は民家を借りて地元からの受託作業を行っていたが、利用者が地域振興に関わりながら自立を目指すための手立て

を模索する過程で、鳥取県の基幹産業の水産業に着目した。

現在の活動拠点の一つとなっている大山町御崎の御崎漁港は、漁業者の高齢化とそれに伴う水揚げ高の減少に悩んでいた。そこで、漁業者らとタッグを組み、御崎漁港で水揚げされる

水産物を加工して商品としての付加価値を高め、販路拡大につなげる地域振興に乗り出した。

鳥取県からの支援を受け15年、漁港に加工施設を開設。地元特産のワカメのほか、それまであまり利用されていなかったアカモクや販売単価が伸び悩んでいたトビウオを仕入れて乾燥させ、リヴよどえでパッケージ化、県内外に販売している。

現在、アカモクはみそ汁の具として人気が高く、順調に売り上げを伸ばす。NPO法人ライヴの取り組みは、障がいのある人が地域振興の担い手となるとともに、持続可能なビジネスモデルとして注目を集め、県外からも視察が相次いでいる。



乾燥させたワカメを袋詰めする作業



多くの方から頂くご支援を力に、水産加工や文化伝承、啓発などの活動をしています。これからも利用者の方々とともにライヴをつくり、育ててまいります。

Voice

理事長
大田 百子さん



Info

●活動エリア／米子市淀江町、御崎漁港(大山町御崎)
●活動日／午前9時半～午後4時 ●代表者／大田百子 ●TEL／0859-56-5789